

# 堤防・河道記録の精度向上

- 変状の種類、内容を理解した上で写真撮影を行い、評価区分を正確に検討できる写真を実際に取得。
- 変状の要因をポンチ絵や文言でチェックリストに記入することで、的確な評価区分の検討に活用。

## 1. 評価検討を念頭に置いた写真撮影

評価検討のポイント(変状の種類、内容)を理解した上で写真撮影を実施。

### ○表法面の不陸

- ・ 不陸の範囲、高さを把握可能な写真撮影
- ・ 変状の規模、範囲が確認できる「スタッフ、赤白ボール等のあて方等の指示



### ○天端の不陸(位置出し)

- ・ 変状の起終点の確認
- ・ R5年度以降の点検の确实性を担保するため、起終点を写真に記録



## 2. 評価をの着目点を踏まえた計測の実施

変状評価の項目が可能となるように現地で計測を実施。



写真 計測、記録状況

## 3. チェックリストへの記入

河川点検士が記入したチェックリストを評価時に参照することで、正確な評価に繋がっている。

河川名称	区間	地点	変状の種類	変状の状況	評価区分
川名	区間	地点	変状の種類	変状の状況	評価区分
			変状の種類	変状の状況	評価区分
			変状の種類	変状の状況	評価区分
			変状の種類	変状の状況	評価区分
川名	区間	地点	変状の種類	変状の状況	評価区分
			変状の種類	変状の状況	評価区分
			変状の種類	変状の状況	評価区分
			変状の種類	変状の状況	評価区分
川名	区間	地点	変状の種類	変状の状況	評価区分
			変状の種類	変状の状況	評価区分
			変状の種類	変状の状況	評価区分
			変状の種類	変状の状況	評価区分
川名	区間	地点	変状の種類	変状の状況	評価区分
			変状の種類	変状の状況	評価区分
			変状の種類	変状の状況	評価区分
			変状の種類	変状の状況	評価区分

現場で記入されたチェックリストの下部には、手書きのポンチ絵と説明が記されています。ポンチ絵は、河川の断面図や変状の位置を示す図です。説明には「L=180m 町内側へ」と「L=120m 町外側へ」といった測定距離や方向が記されています。

図 チェックリスト(現場で河川点検士が記入)